

3. 企画展示事業（平成 26 年度の展覧会）

第66回企画展「江若鉄道の思い出」の結果について

1. 会期 平成 27 年 3 月 7 日（土）～4 月 12 日（日）〔32 日間〕
2. 会場 大津市歴史博物館 企画展示室 B
3. 主催 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞
協力 高島市教育委員会
後援 江若交通株式会社・NHK 大津放送局・BBC びわ湖放送・エフエム滋賀
4. 観覧料 一般 400 円（320 円） 高大生 300 円（240 円） 小中生無料
5. 展示総数 60 件 約 250 点
6. 入館者数 8,132 人（3 月：21 日間 4,619 人、4 月：11 日間 3,513 人） 1 日平均 254 人
有料観覧者数 5,668 人
7. 関連講座等

3/14(土) 江若、最後の二日間を追って	福田静二（同志社大学鉄道同好会クローバー会）	130 人
3/20(金) 江若鉄道の痕跡さがし【現地見学会】	木津勝（本館学芸員）	39 人
3/28(土) 思い出のなかの江若鉄道	木津勝（本館学芸員）	116 人
		関連講座参加者合計 285 人

8. 図録等の販売実績

関連書籍「江若鉄道の思い出 ありし日の沿線風景」大津市歴史博物館編 サンライズ出版刊
A5 版 128 頁オールカラー 1,728 円 販売数 1,360 冊（4 月末時点・当館販売分は 6 月で完売）
総印刷部数 3,500 部（初刷 2,000 部、2 刷 1,500 部）

9. 展覧会の成果と問題点

【内容面】

- ・当館の江若鉄道展は、平成 18 年に続き 2 度目となるため、テーマを「思い出」とした。展示では、資料とともに、協力者の記憶や思い出を解説に加えることで、新たな切り口で構成できた。
- ・会場内では、ジオラマが人気を集め、模型の周りで話し込む姿があちこちで見られた。
- ・期間中の週末を中心に、展覧会の資料提供者がボランティアで解説や質問に答えていただいた。
- ・来場者の思い出を集める展覧会は、過去にも行なってきたが、これまでに集めた江若鉄道の思い出を掲示したことで、期間中に約 200 枚の思い出を新たに集めることができた。

【広報面】

- ・ほぼすべての新聞社に取り上げられた。また、書籍を展覧会前に発行したため、書籍と展覧会を別々に記事にする新聞社もあった。また、鉄道雑誌や協力先の高島市広報にも掲載された。

【集客面】

- ・鉄道ファンだけでなく、地元や周辺でかつて江若鉄道を利用した人々が多く見受けられた。また、家族で観覧し、子や孫に当時の様子を伝える姿も見受けられた。
- ・期間中は、想定を上回る来館者を集め、1 人あたりの滞在時間も長かった。そのため、展示室内に休憩スペースを設ける要望があったものの、スペースの問題から実現できなかった。

【刊行物】

- ・今回、関連書籍として、展示解説図録を当館では初めて一般書籍として販売した。一般書店等での売り上げも好調に推移しており、広く江若鉄道や当館を周知することができた。

10. 展覧会終了後と今後について

本展は、巡回展示として「江若鉄道の思い出・高島展」（高島市主催）を 9 月 5 日（土）～9 月 13 日（日）まで開催した。また、浜大津駅ジオラマについては現在「びわ湖大津館」において展示されている。加えて 12 月には伊香立「香の里史料館」にて一部パネル展示の依頼を受けている。今回、新たに提供を受けた資料等の成果物は所蔵者と調整しながら、今後活用していく。

また、来場者や所蔵者の思い出を集める展覧会は今後も別なテーマで続けていきたい。

《アンケート (抄)》

- ・当時滋賀に住んでいない為、直接的な思い出はないが、現在を比較して、何かしら感動。(大津市 60代 男性)
- ・地域の鉄道を地域の博物館が取り上げることに意義があると思います。(大津市 50代 男性)
- ・前回と同じ企画ですが、内容が変わって写真資料と実物資料が多くなり、ジオラマの良さも加わってよい展示だと思います。昔を思い起させる楽しさがありました。(京都市 40代 男性)
- ・「会話OK」のルールのためあちこちで現地の人と聞くことができ、見たことのない鉄道の残り香を感じることができました。(京都府 40代 男性)
- ・非常に興味深かったです。利用者の思い出話の内容を見ていると、いかに鉄道が大切であったかということがよく分かりました。(大阪府 30代 男性)
- ・とても良い展示でした。私自身 JR 湖西線や京阪電車を利用してますが、70代の祖母の話と展示をもとに、楽しく見させて頂きました。(エピソードや経緯がわかるととても面白い)
- ・値段も手頃で良い経験ができました。(高島市高校生 女性)
- ・出展者と来場者の思い出がマッチして非常に「あたたか」企画展になっていると思う。このような視点は大事だと思う。(大津市 30代 男性)
- ・車両の写真がもっとあればよかったです。(大津市 70代 男性)
- ・もう少し展示できたのではないか。前回や大津の鉄道展のほうが見ごたえがあった。(大津市 30代 男性)
- ・当時と現在の場所を比較する写真があればどんな変化したのかがよりわかると思う。(高島市 20代 男性)
- ・また、数年後に企画展してほしい。記録を残し続けてほしい。(大津市 50代 男性)
- ・車輌に関しての展示が少なくジオラマのみでちょっとさみしく思います。(大阪府 60代 男性)
- ・京阪石山坂本線や京津線についてもぜひお願いしたい。(京都市 50代 男性)
- ・それぞれの思い出をインターネット等で公開してもらえば後からでも拝読できてうれしいです。(岡山市 50代 男性)
- ・ジオラマ動いて欲しかったです。(同意見多数)
- ・基礎的なデータ(歴史、時刻表)を入口あたりで説明されているとよかったです。膳所-浜大津間の国鉄線の説明がもう少し判り易くできたらよかったです。(大阪市 60代 男性)